

第1回  
配本

## 【全三巻】近世建築指図の総合的研究

## 第三巻『建築指図の修補技法に関する研究』

— 島原市本光寺蔵

— 深溝松平藩の指図を事例として —

後藤久太郎（宮城学院女子大学教授）・伊東龍一（熊本大学教授） 編

■ 定価三一、五〇〇円（本体三〇、〇〇〇円＋税） ■ ISBN 978-4-8055-0650-9 C3052

■ B5判 ■ 上製函入 ■ 二五〇頁 ■ 口絵カラー八頁 ■ 挿図一七四点 ■ DVD付き

本書は、近世の日本において作成された指図について、とくにその作図技法および描法について考察した『近世建築指図の総合的研究』全三巻のうちの第三巻である。第三巻を第一回配本としたのは、全国的指図調査の結果、破損が進み、閲覧停止となった指図が急激に増加していることに鑑み、最も出版の緊急性が高いと判断したためである。

全三巻をもって取り組むのは、まず第一に過去の日本人がどのように指図を作成してきたのかを明らかにすることである。また第二に、指図の作図技法や描法からその史料批判を可能にする新たな指標を提示する。過去の建築を歴史的に知ろうとする建築史の分野においては、指図は失われた姿を知ることができる貴重な史料であり、造営時の設計者の設計意図を探り、造営の経過を明らかにしうる史料として、早くから利用されてきた。しかし指図の史料批判については、描かれた建築内容や古文書と同様の書き込み文字の検討に依っていた。本書では、作図技法や描法から指図そのものの作成年代や作成者、作成目的を検討しうる指標を提示したい。第三に、これまで蔑ろにされてきたともいってよい指図の修補や保存の正しい在り方を提案する。近年では、建築史以外の研究者の利用も増えているが、古文書・古記録に比べてこれまで比較的关注が低かったこともあって、指図の保存や修補については十分な注意が払われず、軽視されてきた面がある。作図技法・描法が不明であったことが要因ともなっており、古文書修補の方法がそのまま適用され、指図独自の表現が失われた例もある。作図技法・描法を踏まえた上での、指図の保存・修補の方法の確立が今後の利用にあたっては不可欠である。

以上、本書は全三巻の研究の第三巻としての研究の意義や目的を明らかにした上で、近世指図の使用材料や破損状況について述べ、続いて島原藩主であった深溝松平家の指図を具体例に、その概説に続き、修補と保存の方法についての研究成果を述べる。さらには、難易度の高い修補三例を取り上げ解説し、解説に対応した修補過程を収録したDVDを付す。

中央公論美術出版

〒104-0031 東京都中央区京橋 2-8-7

電話 03-3561-5993 FAX 03-3561-5834

お取り扱いは

本叢書の主旨は、全国の寺社などに保管されている近世の建築に関する指図類を調査・撮影し、それらの貴重な史料を網羅・総合的に収録した基本台帳の作成を企図するのが目的である。

本書は、それに先立ちそれらの指図類の多くが経年のため破損・損壊に瀕し、その修補技術の確立・実施のためのマニュアルづくりの実際を開示するため、この貴重な文化財の修補の適用事例を、長崎県島原市の松平藩の菩提寺である本光寺に所蔵される日本有数の質と量の指図史料に定めて行った報告書である。全3巻の第1回配本（第3巻）の刊行。

|                                 |
|---------------------------------|
| 目次                              |
| 第一章 序論                          |
| 第一節 本研究に至る経緯と本研究の位置付け           |
| 第二節 研究の背景と研究組織                  |
| 第三節 研究の目的と意義                    |
| 第二章 近世建築指図の概要と技法                |
| 第一節 近世建築指図概論                    |
| 第二節 近世建築指図の技法                   |
| 第三章 建築指図の破損と修補                  |
| 第一節 現存近世建築指図の破損状況とその原因          |
| 第二節 建築指図の修補                     |
| 第三節 修補のために用意する材料                |
| 第四章 修補の技法・深溝松平藩の歴史（屋敷の種類）・敷地の変遷 |
| 第一節 長崎県島原市本光寺の建築図面類と修補に至った経緯    |
| 第二節 本光寺所蔵資料・建築指図の概要             |
| 第三節 深溝松平藩邸の歴史（屋敷の種類）・敷地の変遷      |
| 第四節 建築指図修補の実際（DVD参照）            |
| 第五章 建築指図の取り扱いと保存の方法             |
| 第一節 建築指図の取り扱い                   |
| 第二節 建築指図の保存方法                   |
| まとめ                             |
| 研究組織（代表者・分担者・協力者）               |
| 執筆分担一覧                          |
| 既発表論文                           |
| 主要参考文献                          |

## 編者略歴

後藤 久太郎（ごとう ひさたろう）  
1946年 東京都生まれ  
1969年 東京工業大学工学部建築学科卒業  
1974年 宮城学院女子大学学芸学部講師  
1975年 東京工業大学大学院総合理工学研究科  
博士課程修了（工学博士）  
宮城学院女子大学学芸学部助教授  
1981年 同教授（現在に至る）

伊東 龍一（いとう りゅういち）  
1957年 東京都生まれ  
1981年 東京工業大学工学部建築学科卒業  
1987年 東京工業大学大学院理工学研究科  
博士課程単位取得退学  
1987年 東京工業大学工学部助手  
1991年 工学博士（東京工業大学）  
1992年 熊本大学大学院自然科学研究科助手  
1996年 熊本大学工学部助教授  
2008年 同大学院自然科学研究科教授